

米倉教公の週間為替市場見通し

5/15 日週号

ドル/円予想レンジ 112.50 - 114.50 円

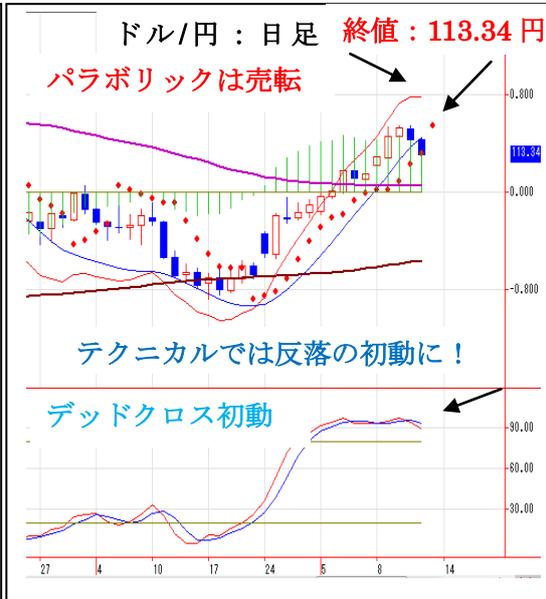
『米政治リスクや地政学リスクが高まる可能性も!』

■前週の市場動向：114 円台前半で伸び悩む展開！

前週のドル/円週足では、上影陽線となり 26 週線の 113.35 円が上値抵抗ラインとして意識されている。週明けは、前日の仏大統領選で中道派のマクロン氏の勝利で、ユーロ/円中心に買いが先行したが、材料出尽くしとして利食いが強まり 112 円台前半まで下落した。一巡後は米長期金利上昇とともにドル高加速。9 日は、海外からのドル買いで 114.30 円台まで上昇したが、北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりが上値を抑えた。10 日は、原油価格の上昇や FRB 高官のタカ派的発言により米長期金利の上昇を支えに 114.35 円近辺までもと直した。11 日は、低調な英経済指標が相次いだほか、米政権運営の不透明感の強まりなどで 113 円半ばまで売られたが、株価が下げ幅を縮めると 114 円台を回復した。12 日は、低調な米経済指標を受けたほか、エバンス米シカゴ連銀総裁が『インフレ見通しが不透明感なら利上げは 1 回でも良い』と発言すると、米長期金利の低下とともにドルは 113 円台前半まで下落した。

■今週の注目点：米政治リスクや地政学リスクが高まる可能性も！

今週の米国では、9 日トランプ大統領によるコミー FBI 長官の突然の解任を受けた政権運営に対する警戒感が改めて強まる可能性がある。来年の中間選挙を控え、与野党ともに世論の風邪向きに敏感となっている。また、14 日早朝に韓国軍合同参謀本部は、北朝鮮が北西部・亀城付近から弾道ミサイルとみられる飛翔体 1 発を発射したと発表しており、地政学リスクが高まる可能性も高まる。15 日の週明けには、中国の主要経済指標も注目される。輸出入の伸び悩みや、金融規制改革が強化されており、景気回復の鈍さが示されるとリスク回避の動きにつながりやすく、上海総合株価指数の動向には注意が必要となる。19 日のイラン大統領選も保守穏健派のロウハニ氏が再選されれば問題はないが、保守強硬派が大統領選で勝利すると欧米との悪化リスクが高まる。上値目途は、12 日高値の 113.95 円、11 日高値の 114.37 円、3 月 15 日の高値 114.88 円、下値目途は 9 日安値の 113.13 円、4 日高値の 113.04 円、8 日安値の 112.39 円。米政治リスクや地政学リスクが高まる可能性も。



★今週の気になる出来事

週末 19 日に実施されるイラン大統領には注意が必要となる。1 回目の投票で過半数の候補がいないと、上位 2 候補が 26 日に決選投票に進む。決選投票になると、保守強硬派の票が一本化するため保守穏健派のロウハニ現大統領の再選の可能性が低下する。また、ハメネイ師最高指導者も、保守強硬派を後押ししており、より再選の可能性が低下する。もし、保守強硬派が次期大統領に当選すると、再び欧米と関係が悪化しやすく、中東情勢が波乱の芽となりやすい。再びイランが核開発に動き出す可能性も浮上してくる。

■テクニカル的な見解：テクニカル的には反落の初動に！

シカゴ IMM 投機筋の 5 月 9 日付け対米ドルの差し引き持ち高は、円は前週の▲30,483 から▲36,307 へと売り持ちは前週から増加した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、5 月 12 日に売り転換。15 日の SAR は 114.37 円まで上昇すると買い転換となる。MACD（パラメータ：12、26、9）では、MACD とシグナルの乖離幅は縮小。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：89.31、%D：93.48 とデッドクロス初動。75 日線（紫線）を緩やかに低下傾向。200 日線（茶線）は緩やかに上昇基調となっている。ロウソク足は、前日ロウソク足に対しては上値・下値切り下げていることには注意が必要。米政治リスクや地政学リスクが高まる可能性もあり、今週明けのオセアニア市場には注意が必要となる。米長期金利低下も円高傾向を強める可能性がある。

本レポートについての注意事項は巻末をご覧ください。必ずご確認ください。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 28 食産第 3988 号,経済産業省 20161108 商第 10 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。